

音楽監督

朝枝 信彦

元マンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスター

1955 年生まれ。19 歳で渡欧。ウィーンにて W. バリリ、R. オドノポゾフ、ロンドンにて N. ブライニン、N. ミルシュタインの各氏に師事。1980 年から 19 年間にわたり、ドイツのマンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスター。

現在、ソリストとして年間 20 回程度のコンサートを行う。伝統的なヴァイオリン奏法と音楽解釈を継承している貴重な存在で、内面的で深い感動を与える演奏には定評がある。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンからシューマン、ブラームス等、ドイツ音楽を得意としている。2015 年より松江クラシックス音楽祭音楽監督。聖書と、アウグスティヌス及びケルケゴールの著作を愛読。